

平成30年度 学校評価アンケート<考察>

- ① お子様（生徒）は「明るく楽しい学校生活を送っている」という質問に対しては、肯定的な回答が85%（生徒）、86%（保護者）の結果となっている。本校では、「自立」・「コミュニケーション」・「開智」・「健康」の四本柱で教育活動に取り組んでおり、全体としては、素直で穏やかな生徒が多い。わかる授業の実践。教室に居場所を作る。という学校作りを今後も進めていくことが必要である。
- ② 「学校生活のルールを守った生活」については、95%が肯定的な回答である。上級生が下級生に手本を示し、行事でも普段の生活でも、下級生を姿（行動）でよくリードできている。下級生も良い影響を受け成長してきていると考えられる。清掃はよくできている。上級生が率先垂範している姿が全体に良い影響を与えていている。「無言清掃」の呼びかけや「五箇条の御清掃」活動などによって、1学期より良くなっている。このことが、校内生活の向上につながっていると考える。
- ③ 「三中は部活動が積極的に行われている」の肯定的な回答は80%、「旅行的行事や体育祭、合唱コンクールなどの行事は、有意義なものであるか」の質問には、95%が肯定的な回答である。生徒にとって部活動は中学校生活の大きな楽しみのひとつになっているようである。部活動の在り方について、その意義や目的を再度見直し、柏市のガイドラインに沿って休養日の持ち方や練習について改善していく必要がある。旅行的行事や体育祭、合唱コンクール・輝秋祭などの行事は、学級や学年そして生徒個人に有意義で思い出深いものになっているようである。1つの行事の成功には多くの時間やエネルギーが生徒の内面の成長に関わっていると考える。
- ④ 「三中はいじめのない学校づくりに取り組んでいる」という質問に、78%の生徒が肯定的に回答している。同様の質問に保護者は肯定的な回答が46%である。本校でも、昨年度は学期に1回しか実施していなかったいじめアンケートを毎月実施している。また、相談ポストの設置や学級担任との面談等を実施している。また、「いじめ防止基本方針」に基づいて、いじめに対して早期解決・未然防止を図ることで保護者からの信頼を築いていきたい。
- ⑤ 生徒アンケートで「私は、授業に一生懸命取り組んでいる」の設問では、91%以上が肯定的に回答している。2分前着席や授業開始前の黙想で、落ち着いた雰囲気の中で授業ができている。また、学習ノートや1day1pageで家庭学習の習慣が身についてきている。授業で生徒同士の話し合いや学びあいの場面が増えてきている。
- ⑥ 保護者アンケートで、「お子様を三中に通わせて良かったと思う」という質問に81%の肯定的な回答をいただいた。学年が上がるにつれ、肯定的な回答が増えていることはありがたく思う。これからも、生徒は「学校に行くことが楽しい」と思える学校、保護者の方々は「お子様を通わせて良かった」と思える学校、そして、地域から信頼される学校を目指して、教育活動を進めていきたい。